

活動の趣旨

UV光源応用実証研究会は、UV光源およびその産業応用の課題解決と実用化を図る事業の企画・実施に参与することを目的とします。

本会は、光源技術や新材料とその応用関連の多様な分野の企業様およびご専門研究者の会員で構成し、技術・製品・情報などを相互活用し、国・地方自治体・UV関連団体とも密に連携して、質の高いソリューションの創出が期待できる交流の場を提供します。

1. 入会の承認

入会希望者に対して、役員は希望者の所属、専門領域、入会希望の理由を聞き、承認を決定する。

2. 会費の徴収

本会は会費の徴収を行わない。なお、勉強会等の開催時は参加費を徴収する。

入会申込

本会の趣旨に賛同いただき、入会を希望される方は、資料請求の申込書に必要事項を記入のうえ、直接世話人にまたはメール送付にてお申込みください。

■資料請求の申込書

氏名(ふりがな)	()
住所	〒
電話	
e-mail	

※メールでお申し込みの場合は、上記内容を記載してください。
※個人情報については厳重に管理し、入会手続き以外の目的には使用しません。

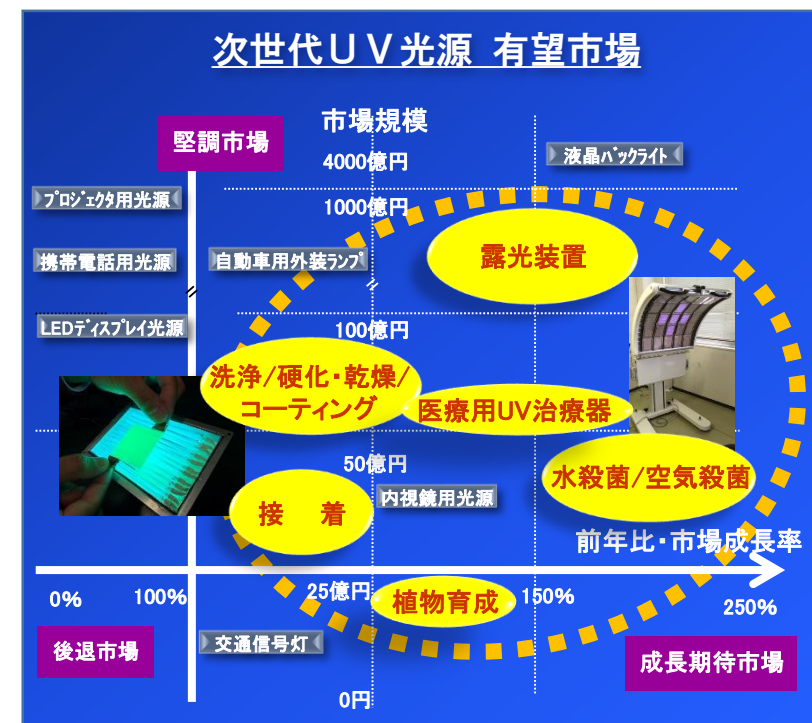
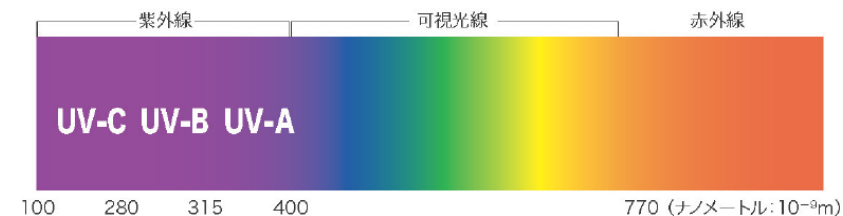
送付先

UV光源応用実証研究会 事務局
e-mail: hamada@port.kobe-u.ac.jp

環境に優しいUV光源を用いたビジネス革新を考える

UV光源応用実証研究会

Proof-of-Concept for UV light applications
(PoC-UVLA)



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



設立の経緯

これまで紫外(UV)光源は主に水銀ランプが使用されてきましたが、国連環境計画(2003年～)、欧州RoHS(2006年～)、水銀条約(2017年8月発効)のもと、水銀添加製品は2020年までに製造、輸出輸入が原則禁止となりました。

現在、UV光源の新たな研究開発が盛んに行われ、水銀フリーのLED、プラズマ励起方式、レーザーや水銀レスである冷陰極管(CCFL)方式等多くの光源技術・ランプがそれぞれの特徴を活かしビジネス展開を図ろうとしています。しかし、研究開発途上であるため、水銀ランプの機能・性能・コストを満たすことができず、また、産業への展開を十分に果たせていません。

そこで、喫緊の課題として技術課題解決とビジネス展開のソリューションを見出すべく、企業の有志が「ともに学び・協働できる場」開設の重要性を認識し、「UV光源応用実証研究会」が令和元年12月1日に設立されました。

“環境に優しいUV光源を用いた事業構想の概念検証(PoC)・ビジネス革新を共に考える勉強会に、ぜひご参加ください。”

—世話人より

役員

■代表世話人

喜多 隆 神戸大学 工学研究科 教授

■世話人

小野隆一 トゥルーバグループホールディングス株式会社 代表取締役社長

伊熊敏郎 NPO法人日本フォトンクス協議会(JPC) 理事、関西事務局長

■評議会委員

平山秀樹 理化学研究所 深紫外LED研究チーム 副チームリーダー、主任研究員

檀特竜王 神戸市 経済観光局工業課 課長

桂 慶全 日本エコ照明株式会社 代表取締役

錦織千佳子 神戸大学 医学研究科 教授

菰田悦之 神戸大学 工学研究科 准教授

津田明彦 神戸大学 理学研究科 准教授

※大学、公的研究機関、企業、神戸市から
企画選定中

主な事業内容

■定例行事(会員対象):勉強会、情報交換会など

- 年数回の勉強会を定期的に開催
- 会員間での「UV光源応用展開」における現状の技術課題及びビジネス課題を共有化:
 - ・ 専門家のプレゼンテーション
 - ・ 参加者間でのディスカッション及び情報交換
- 関連する研究開発技術・製品などの紹介
- 勉強会での議論や検討内容のテーマ化
- テーマの深化のため幅広い交流の推進と情報収集
- 情報交換・意見交換によるイノベーション探索
- 戦略仮説・コンセプト、あるいは、事業構想の実効性検証として、PoC(概念実証)を参画希望会員間で協働実施:
 1. 技術的実現性の検討・検証
 2. 効果効用の検証
 3. 実用化までの技術的サポート
 4. ビジネスモデルの構築とコンサルティング

■特別行事(一般に公開):セミナー・講演会・見学会・外部交流会など

- 日本フォトンクス協議会(JPC)との連携

所在地

■事務局

国立大学法人神戸大学 内
657-8501神戸市灘区六甲台町1-1

■連絡先

e-mail: hamada@port.kobe-u.ac.jp